

300号



PTA新聞

発行所/福岡県PTA連合会
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50
福岡県吉塚合同庁舎5階
TEL092-643-7766 FAX092-643-7767
発行人/松尾 和昭
編集/広報委員会

HPリニューアルしました!

県P連ホームページアドレス <https://fukuokaken-pta.jp>



令和4年度 福岡県PTA連合会 委員名簿

総務委員会 (委員11名)

委員長	岩下 知生	弓削田中 (筑 豊)
副委員長	高津 レミ	新宮東小 (福 岡)
委員	井手上雄二	立石小 (北筑後)
〃	高野 亮一	宮ノ陣中 (北筑後)
〃	木下 寛士	大川桐英中 (南筑後)
〃	大久保真也	八木山小 (筑 豊)
〃	今池 欣継	合 岩 中 (京 築)
〃	杉山美智子	大 莞 小 (南筑後)
〃	竹中喜美子	下城井小 (京 築)
〃	岩野 展夫	大野東中 (校長会)
〃	阿部 龍彦	大島学園 (福 岡)
担当副会長	廣瀬 啓	会務担当 (北筑後)

研修委員会 (委員12名)

委員長	矢野 愛	感 田 (北九州)
副委員長	川津圭一郎	中元寺小 (筑 豊)
委員	吉本 康	築 城 小 (京 築)
〃	矢野 裕児	築 須 前 小 (福 岡)
〃	大鶴 泰輔	原 輪 中 (福 岡)
〃	半田 裕一	輪 島 小 (北筑後)
〃	田中 優子	島 吉 小 (京 築)
〃	松尾菜美子	福 蟻 小 (北筑後)
〃	河原 麻美	吉 城 郡 小 (北筑後)
〃	船津 聡哉	小 筑 後 中 (南筑後)
〃	石橋 雄二	刈 田 中 (京 築)
〃	竹原 昭夫	会務担当 (京 築)
担当副会長	鬼頭 良典	

広報委員会 (委員12名)

委員長	牧元 慎治	太宰府西中 (福 岡)
副委員長	田中 昭広	大 福 小 (北筑後)
委員	阿部 竜大	中間北小 (北九州)
〃	中澤 竜	東 郷 小 (福 岡)
〃	進藤 崇	太宰府南小 (福 岡)
〃	堀部 尚孝	志 摩 中 (福 岡)
〃	金子 隆	昭代第一小 (南筑後)
〃	大村美代子	福岡東中 (福 岡)
〃	大永加奈子	宮若西中 (北九州)
〃	日高 大輔	古 島 小 (南筑後)
〃	石橋 格	片 島 小 (筑 豊)
〃	樋口 俊治	川 中 小 (筑 豊)
担当副会長	清原 龍彦	会務担当 (北筑後)

安全・調査委員会 (委員13名)

委員長	永田 健一	上 新 小 (南筑後)
副委員長	長谷川 勝利	内 津 小 (京 築)
委員	桑原 伸一	新 立 山 小 (南筑後)
〃	山下 康之	花 川 中 小 (南筑後)
〃	熊井 弘幸	鞍 手 中 小 (北九州)
〃	佐藤 智司	桂 川 中 小 (筑 豊)
〃	岩崎奈津美	稲 築 西 小 (筑 豊)
〃	大村 華奈	中 間 北 小 (母親代表)
〃	浦田 陽子	飯塚鎮西小 (筑 豊)
〃	稲津 一徳	久 保 小 (京 築)
〃	下元 操	新 宮 東 小 (福 岡)
〃	中村 典史	感 田 中 (北九州)
担当副会長	藤野 勇	岡 垣 中 (北九州)

家庭教育委員会 (委員13名)

委員長	大藪 耕士	大 莞 小 (南筑後)
副委員長	吉村 正行	御 幸 小 (北筑後)
委員	片岡 志朗	福 岡 東 中 (福 岡)
〃	哲哉	金 丸 小 (北筑後)
〃	小川 浩司	古 島 小 (南筑後)
〃	馬場 理恵	広 川 中 小 (南筑後)
〃	岩本 浩司	水 卷 中 (北九州)
〃	水田 朱美	比 良 松 中 (母親代表)
〃	住吉江美子	水 田 小 (南筑後)
〃	白石かおり	飯塚鎮西中 (筑 豊)
〃	前田 朗	宮ノ陣小 (校長会)
〃	三栗野正男	大 城 小 (北筑後)
〃	馬場 育実	黒 田 小 (京 築)
担当副会長	香月まゆみ	会務担当 (北九州)

福岡県PTA連合会

令和4年度 委員総会開催

5つの委員会活動がスタート!



知恵を出し合って
頑張ります!

各委員会の今年度の委員長が決定。
左から総務委員長・岩下知生さん、研修委員長・矢野愛さん、広報委員長・牧元慎治さん、松尾和昭会長、安全・調査委員長・永田健一さん、家庭教育委員長・大藪耕士さん。

「学びを深め、子どもたちの暮らしを守ろう!」に基づき、「今年度も研修会の開催などを通じて、単位PTAの方々に多くの情報を発信していきたい」と語りました。また、委員活動を行っていくにあたって、「一番は楽しく活動すること。皆で目標を共有し、一緒に取り組む中で仲間としての絆が深まり、喜びが生まれます」と激励しました。

全体会ではその後、県Pの組織や活動計画などについて説明が行われました。

第2部の各委員会は、総務、研修、広報、安全・調査、家庭教育の5つの委員会に分かれて開催。委員の役割や年間計画を共有し、正副の委員長が選ばれました。

福岡県PTA連合会(県P)の令和4年度委員総会が6月25日、福岡県社会教育総合センターにて開催されました。全体会で松尾和昭会長は、今年度の活動方針「学びと交流」

学びを深め、子どもたちの暮らしを守ろう!



総務

自己紹介や
活動内容を
共有



広報



家庭教育



研修



安全調査

まずは委員の
仲間同士
交流を深めました!



久方先生の講話

(福岡県PTA連合会 副会長 清原龍彦)

今回は、講師に福岡県教育センター特別支援教育部総括主任指導主事の久方康司さんを迎え、テーマ「特別支援教育の現状について」をご講話いただきました。福岡県における特別支援教育についての現状、発達障がいの種類や関連性を久方先生の体験を交えながらご講話いただきました。児童生徒たちの未来のためにも、特別支援や発達障がいについて、私たち保護者と教員が多くのことを理解し、対応していく必要があることを学ぶことができました。

三P協連絡協議会研修会が7月15日、博多サンヒルズホテルにて開催されました。研修会は、「福岡県はひとつ」という強い連帯感のもとで、PTA本来の目的のため、より一層の緊密な連携」を目的に福岡県下3つの連合会・協議会(福岡県PTA連合会・福岡市PTA協議会・北九州PTA協議会)役員が一堂に会し、子どもや保護者をめぐる諸問題に研修及び協議を深めるために開催しています。

特別支援や
発達障がいについて
多くの学び



令和4年度
三P協
連絡協議会研修会



思いを込めてシトラスリボンを制作

福岡

子どもたちの
人権感覚を育成

● 福岡市立福岡東中学校

福岡東中学校PTAは、これまでさまざまな活動に取り組んできましたが、この2年はコロナ禍のため、活動の制約を余儀なくされています。そのような中、昨年度本校PTAが行った、シトラスリボンプロジェクトをご紹介します。

このプロジェクトは、コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくし、みんなが暮らしやすい社会を実現しようとする思いを込めて地域・家庭・学校を表す3つの輪をもつシトラスリボンを制作する取り組みです。まず本校PTA本部役員が、このプロジェクトの内容や意義を子どもたちに伝えるプレゼンを作成しました。そのプレゼンを見た子どもたちは、趣旨を理解し、思いを込めてシトラスリボンを制作していました。写真。また、制作後はスクールメールを配信し、全校保護者にこの取り組みについて説明することも、家庭で子どもと話題にしようというように促しました。

コロナ禍で、活動が制限される状況ですが、学校と家庭が連携して子どもたちの人権感覚を育成することができました。今後も今できることを模索しながら子どもたちを育てていきたいと思っています。

(福岡東中PTA会長 濱田圭介)

南筑後

地域を愛する
子どもたち

● 大川市立大川小学校

今年度、6年生児童が、地域、市、PTAを巻き込んで地域の課題を解決していく総合的な学習の取り組みを紹介いたします。4月、4人の6年生児童が担任の先生に「学校そばの防火水槽が汚くなっています。自分たちの手できれいにしたいです」と訴えました。そして、4人の児童は、6年生全体に協力を呼びかけ、総合的な学習として、「防火水槽クリーン大作戦」を企画し、地域の課題解決を実現する過程を学ぶことになりました。その中で、防火水槽の歴史や役割、生き物の保護の仕方等を詳しく調べ、提案書にまとめて市長に手渡し、自分たちの願いを伝えることができました。

令和4年7月、消防団や地域支援課、PTA役員、たぐさんの地域の方・保護者の方のお力を借りて、防火水槽の水を抜き、金魚やカメなどを保護し、ごみや石を取り除き、きれいにすることができました。写真。6年生児童は、「地域のために、壮大なプロジェクトを達成できてうれし！」と達成感を味わっていました。

これからも学校、地域、PTAが協働して、地域を愛する子どもを育てたいです。

(大川小PTA会長 辻和仁)



児童が企画・実行した「防火水槽クリーン大作戦」

北筑後

チームで見守る
元氣塾

● 久留米市立三潨小学校

本校は、明治7年に創立し、令和6年度に150周年を迎えます。近くには、三潨校区のシンボル「ポッポ自動車」が飾られています。登下校時には、安全パトロールの皆さまにご指導いただき、学校と地域、保護者がチーム三潨として、子どもたちの成長を見守っています。その活動の一つ、三潨校区が主催する「汽車ポッポ元氣塾(月2回土曜)」に、PTAも協力員として参加しています。お茶・お花コースでは、伝統文化にふれ、礼儀作法などを楽しく学ぶことができます。写真。スポーツコースでは、野球・カヌー・アジャタなどさまざまなスポーツを体験し、子どもたちは人との関わり方も学んでいます。これらの活動は、相手を理解し大切にする心を子どもたちに育んでいくことにもつながります。毎回楽しみに参加している子どもたちの安全を一番に考え、活動しています。

本年度は、3年ぶりに資源回収を行い、コロナ禍でも活動ができるように工夫しています。今後も、子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるように、学校と地域の架け橋となり、PTA活動に取り組んでいきたいと思っています。

(三潨小PTA会長 井上美幸)



令和4年のお茶の様子

第2回

学ビバ!! FUKUOKA

2022 福岡県大会

～ネット社会における上手な子育て～

[テーマ]

ネット依存によるトラブルや、SNSに起因する犯罪から子どもたちを守るために、私たち大人もSNSを正しく扱うための知識を身につけよう。

- ◎スマホを持たせるタイミング、扱い方の教育など
- ◎ネット犯罪の現状と危険性
- ◎フィルタリング機能の活用などについて学びます!

日時 10月22日(土) 13:30~16:00

会場 なみきスクエア(なみきホール)

福岡市東区千早4-21-45 (JR千早駅西側)

※詳細につきましては、後日HPに掲載いたします。

サンビーバーズ

北九州市

福岡県

福岡市



キタキユーちゃん



けんピーちゃん



シーちゃん

京築

地域の宝を 守る活動

●行橋市立今元小学校

今元小学校は、全校児童227人、祇川（はろい）の下流に位置する自然豊かな環境に恵まれた学校です。校区にある長井の浜には、マリンスポーツや海水浴、マテ貝などの潮干狩りができる美しい海岸が広がっており、毎年多くの観光客が訪れ、楽しんでいきます。

例年、海水浴シーズン前（6月の中旬）に5・6年生の児童がPTAの保体環境委員会と連携して、地域の環境保全の大切さを学ぶために長井の浜の清掃活動を行っています。今年度は同じ校区の中学校、地域の方に参加協力を呼びかけました。今元中学校の3年生、地域の方が多数参加し、地域の宝である「長井の浜」を守る清掃活動を行うことができました。写真。

この活動を通して、児童は地域の自然環境に興味・関心をもち、地域の自然を守るために自分たちができることを考えることができました。

その他、PTAでは役員や理事を中心に熱心に活動を行い、児童の学びを支えています。今後も地域を大切にする児童を育成するために、学校・地域・PTAが連携して何ができるのかを考え、協働した取り組みを続けていこうと思います。

（今元小PTA会長 出田里美）



「長井の浜」で清掃活動

北九州

伝統の 西小まつり

●中間市立中間西小学校

中間西小学校PTAでは、「すべては子ども達のために！」をスローガンに、3つの実行グループを作って活動しています。さまざまな活動の中でも、一番力をいれてきたのが、まちづくり協議会と連携して行う「西小まつり」です。

午前は、地域の人たちをゲストティーチャーとしてお招きし、一緒にカルタ大会や折り紙教室、竹を使った水鉄砲づくりなどを行ってきました。午後は、不用品バザーをはじめ、パンや野菜の販売に高学年の児童が「子ども店員」として参加しています。写真。普段おとなしい子どもが大きな声を出し、張り切って呼び込みや接客をする姿には毎年驚かされます。

また、子どもたちが好きな遊びを楽しむよう、体育館に、おはじきやだるま落とし、磁石を使った魚釣り、輪投げ等の「昔遊びコーナー」を設けています。お世話をするのはもちろん、高学年の児童です。ここの子ども同士の関わりはその後の学校生活にも良い影響を与えています。

コロナ禍で2年間実施できていませんがこの伝統を引き継ぎ、今年は、新しい形での実施を模索しているところです。

（中間西小PTA会長 川口彰洋）



西小まつりの子ども店員

筑豊

SDGsに 向かう二中

●飯塚市立飯塚第二中学校

「SDGsに向かう二中」これが飯塚市立飯塚第二中学校の目標です。私たち二中PTAは、子どもたちがこれからの社会で出会うさまざまなことを、「自分ごと」として捉え挑戦できるように学校とともに活動しています。

ここ2・3年は、新型コロナの影響で活動を縮小してきましたが、本年度からは徐々に活動を再開しています。まずは、体育会などの学校行事において、少しでも保護者が参観できる機会がもてるようPTA役員を中心にお世話を行っています。

7月11日には、生徒と保護者で花壇に花の苗を植えました。写真は夏の蒸し暑さの中、たくさんの保護者の方に参加いただき、花壇を花いっぱいにするのができました。子どもたちは「おうちのひとと一緒に活動ができてとても楽しかった」と、花壇の中央には、今にも咲きそうなおひまわりがすくすくと伸びています。このおひまわりは、二中PTAの先輩が「読み聞かせ活動」の時に紹介した宮城県石巻市大川小学校のおひまわりの種を毎年受け継いで育てているものです。二中PTAの伝統を受け継ぎ、これからも子どもたちを育てていきます。

（飯塚二中PTA会長 熊本友和）



大川小から受け継いだひまわり

福岡県 家庭でのネット利用のルール作りにつなげる保護者向け研修会 開催の御案内

○受講対象者 小・中学生の保護者

- ※個人でも団体（PTA等）でもお申し込みができます。
- ※希望する受講日を選べます。
- ※原則としてオンライン受講となりますが、団体（PTA等）で御希望があれば、現地での集合研修もできます。

○研修内容

- ・オンラインゲームの現状についての解説
- ・児童生徒に人気のオンラインゲームの実演による解説（課金の仕組み、ユーザー同士の会話機能等）
- ・家庭でのネット利用のルールの作り方と守り方のポイント解説、質疑応答

○募集方法

- ・小・中学校の保護者を対象にオンラインで参加募集
- 左下の2次元コードもしくは <https://sites.google.com/view/info-et-seminar> にアクセスしていただき、個人または団体（PTA等）でお申込みください。

お問合せ

- ポータルツウウィン株式会社
- 福岡県 青少年育成課 支援係
- メール kkj_seminar@ptw.inc TEL 092-643-3388
- メール seisho@pref.fukuoka.lg.jp



福岡県PTA連合会推薦 小・中学生総合保障制度（こども総合保険）について

お子様の「ケガ」「育英費用」やお子様とご家族の「個人賠償責任」などに備えられます。

学校内はもちろん、放課後の遊戯中・クラブ活動中や休日のレジャー中の事故など様々なケガに備えられます。



他人にケガを負わせたり、他人のものを壊したりして法律上の損害賠償責任が生じた場合に備えられます。



※保険商品の概要を説明したものです。詳細につきましては取扱代理店にお問い合わせください。
 ○制度に関するお問合せ先：0120-228-553 福岡県PTA連合会保障制度事務局（取扱代理店：株式会社コーリン）
 受付時間：平日午前9時～午後5時（土・日・祝日、年末年始を除く。）
 ○制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社
 三井住友海上火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

この制度の詳細内容はこちらからも確認いただけます。
 AIG 損害保険株式会社「お子さまのための総合保障制度」
<https://riskfinder.jp/school/>





山際千津枝の

— マングースの独り言 —

Vol.111

食べるってなあに

考える習慣を大切に



昔々のことですが、ある教室で一人の女性がとても丁寧にほうれん草を洗っていました。彼女は洗い終わったほうれん草をザルに上げてから、鍋に水を入れ火にかけ、鍋をのぞき込んでお湯が沸くのを待っています。やっと水が泡立ちはじめ、彼女はほうれん草を根からお湯に投入します。しばらくして菜箸が必要なのに気づいて慌てます。続いて茹でた青菜は冷たい水につけることを思い出し、慌ててボウルに水を張ります。その頃にはもうほうれん草はクタクタ。

横で見ていた若くてちょっと意地悪な料理の先生（私）は「まず必要な道具を準備して、お湯を沸かしている間にほうれん草を洗うと合理的でしたね」と。その女性は「お勉強になりました」と素直にうなずきました。

皆さんに心当たりはありませんか。料理中の頭はフル回転しなければならぬのです。

以前も書きましたが、私は何度も小学校を追い出されそうになった劣等生でした。とにかく物事を覚えられないのです。自分が何年生で何組なのか。その結果自分の教室が見つけれなくて学校には早めに着いているのに遅刻するのです。信じられないでしょうが毎日が恐怖でした。

栄養学校には行きましたが、なぜ料理研究家になれたかは謎です。

料理研究家の主な仕事はレシピ作りです。肉じゃがを作ります。2人分でじゃが芋は何グラム必要か、他にどんな材料を加えるか。調味料は何が必要なのか。切り方はどうする。いちいち考えてそれを数字と文章にしてやっとできあがり。一つのレシピを作るのに一晩かかることも珍しくありませんでした。怠け者の私がなぜ途中で投げ出さなかったのか。試してみて考える。なぜか苦しいはずの作業が私には楽しかったのです。向いていると思いました。

掛け算、割り算、方程式、聖徳太子はいつ生まれたのか。学校では覚えることばかり。記憶することが苦手な私にとって苦痛の連続でした。もしかして覚えられない分、考える習慣が身についたのかもしれない。きっと学校で考える大切さを学んでいたのです。やはり学校はありがたい。

生きていれば100歳を超える父の旧制高校卒業アルバムの寄せ書きに、

去る／夢と希望を残して／善悪は知らず／ただ考えるということを得て／友よ／と。考えるということ忘れられないようにしたいですね。

県P新聞は今号で

300号!

時代が変わっても

県P新聞の使命は変わりません。

県P新聞が創刊したのは昭和48年のこと。発行部数は各単位PTA平均50部前後で、総数は3万5000部ほどだったそうです。創刊号は残念ながら現存していませんが、100号記念号でその表紙を見ることができます。

平成元年4月に100号、平成17年12月に200号を達成。200号では念願の県下小中学生の全保護者への全員配布も実現しました。

そして令和4年9月、300号を達成！ 創刊から49年。昭和から平成、令和へと時代は変わりましたが、すべては「子どもたちのために」という県P新聞の本質は変わりません。これからも子どもたちの教育と環境を良くし、魅力ある学校づくりのため、たくさんの情報をお届けしていきます。

※100号、200号の紙面をスマホで読むことができます。QRコードを読み取って、ぜひご覧ください。

100号



平成がスタートした記念すべき年に迎えた100号。この年、消費税が初めて導入され、海外ではベルリンの壁崩壊という大きな出来事もありました。県P新聞では九P大会への意気込みや、「父親のあり方」についての特別寄稿が掲載されました。

平成元年4月発行



200号



愛知万博の開催に沸き、郵政民営化法が成立した平成17年。県P連発足20周年という記念の年でもあり、200号では当時の日P会長と県P連会長の対談が実現。熱気いっぱいのブロック研修会の様子も伝えられました。

平成17年12月発行



おかげさまで300号

歴代広報委員会の皆さま、単位PTAの皆さま、原稿執筆を引き受けてくださった皆さま、その他、これまで関わってくださった皆さまに感謝いたします！

県P委員のひとりごと

ブロックでつづられた希望通り「安全・調査委員会」に入ることが分かったのが委員総会でのことでした。その時に委員長、副委員長を決めるというのは聞いていたけれども、理事から選ぶとのこと、せっかくなかったら自分からやってみようと思いましたが、分らないことだらけですが任期終了まで精いっぱい頑張ってみようと思えます。記念すべき300号に原稿が掲載されることで光栄に思います。

(安全・調査委員長
永田健二)